

寄贈品の紹介

この度、仲泊出身の方より、博物館にビンシーを寄贈していただきましたのでご紹介いたします。

ビンシーとは神様へ祈願をするときに必要な 1 対のお酒入りの瓶、盃、線香などを入れておく携帯用の道具箱です。箱の蓋を取ればそのまま祈願することが出来るので、屋外の拝所などを回る際によく利用されます。

今回、寄贈していただいたものは寄贈者の実家で使われていたもので、昭和初期に手作りされたものとのことでした。祈願する際に使われていたそうですが、新しいものを使うようになったため、実家に保管されていたそうです。箱の中には 1 対のガラス瓶と盃代わりのグラスが納められていました。ガラス瓶の底にあった企業名から、瓶は古いものではなく途中で取り替えられているようです。

寄贈いただいた資料は今後の新収蔵品展などでお披露目したいと思っております。最後になりましたが、この場をお借りして寄贈者に感謝申し上げます。(後藤)



安富祖小学校 6 年生の校外学習の講師を務めました。

安富祖小学校より理科の学習の一環として、校外学習の講師依頼がありましたので、10 月 30 日に 6 年生のみなさんと一緒に、村内にある地質観察スポットへ行きました。

野外見学の場合には、安全に見学が行えるかなどを確認するために、事前に打ち合わせや下見を行います。また、実際に児童たちが楽しみながら、観察したり、触れたりすることで学習内容の理解をより深められるような場所を選定することも重要です。今回も事前に担当の先生と一緒に数カ所の見学候補地の下見や、ルート確認などを行い、どんなことを学んでもらいたいかを打ち合わせしてから実施しました。

今回、安富祖小学校 6 年生の皆さんを実際に案内したのは「伊武部ビーチ」です。ここは名護層という沖縄本島北部に見られる地層が分布している地域ですが、マグマが冷えて固まった安山岩も一緒に見ることができるポイントです。観察地点までは海岸の岩場を登ったりして、少し探検気分も味わいながら、観察を始めました。海岸に下りると最初に名護層の中でも、黒色千枚岩と呼ばれる岩石が地表に顔を出しています。この一帯の地層は今から約 5, 600 万～3, 390 万年前の時代のものだと言われていますが、地殻変動の影響で、地層が曲がりくねって変形した「褶曲」を観察できます。

